

科目分類	共通教養科目	単位数	2
時間割コード	GR11011	履修年次	1年
授業科目・題目	現代大学論 -大学を知り、大学で学ぶ-	開講学期	前期
授業科目・題目(英語)	Introduction to University	曜日・時限	金曜日(3時限, 4時限)
科目コード	GR11010	選択/必修	選択
担当教員	山田 剛史	履修資格	1年

授業形態	講義と演習
授業の目的	大学を取り巻く社会の変遷, それと密接に関わって成長・発展を遂げてきた大学の変遷, 大学の主たる構成員である大学生の変遷, そして3者の相互関連性に焦点を当て, “大学とはどのような場であるのか” “大学で学ぶことはどのような意味があるのか” といった「自分と大学」「自分と学問」の関係の在り方に関する洞察を深めることを目的とします。
科目の達成目標(達成度)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大学の歴史や意義・役割について説明することが出来ること(知識)</li> <li>2. 大学生としての自覚を持ち, 学生生活のビジョンを描くこと(態度)</li> <li>3. 学習観の転換を図り, 主体的・能動的に学ぶ姿勢を身につけること(態度)</li> <li>4. 論理的思考力とそれを伝える表現力を身につけること(技能)</li> <li>5. 他者の意見を聴き, 協調性を身につけること(技能)</li> </ol>
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション-大学ってどんなところ?-</li> <li>2. 大学の歴史1: 大学の誕生</li> <li>3. 大学の歴史2: 日本の大学-エリートからマスへ-</li> <li>4. 大学の歴史3: 日本の大学-マスからユニバーサルへ-</li> <li>5. 島根大学を知る(事前課題→プレゼンテーション)</li> <li>6. 大学と学問1: 教養教育と専門教育</li> <li>7. 大学と学問1: 学習観の変遷</li> <li>8. ディスカッション+報告(前半の授業を踏まえて)</li> <li>9. 大学と社会: 大学とキャリア</li> <li>10. 大学生の心理1: 大学生(キャンパスライフ)の変遷</li> <li>11. 大学生の心理2: 昨今の大学生</li> <li>12. 現代大学生を知る1(事前課題→プレゼンテーション)</li> <li>13. 現代大学生を知る2(事前課題→プレゼンテーション) (*第13講・第14講のどちらかで1回報告してもらうことになります)</li> <li>14. 授業のまとめ-振り返りと授業評価, レポートの書き方について-</li> <li>15. 期末試験(レポート課題)</li> </ol>
授業の進め方	講義内容を踏まえ, 適宜ディスカッションとプレゼンテーションを行い, その内の2回は事前課題(調査)を設けています。講義の終了時にはリフレクションシート(10分程度)を, 次回講義時にはチェックテスト(10分程度)をそれぞれ行います。
授業キーワード	大学適応, 学習観の転換, アカデミック・スキル, ソーシャル・スキル
テキスト	基本的には, 授業レジュメを作成・配布します。
参考文献	適宜指示します。
その他授業資料等	適宜配布します。
成績評価の方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学期末レポート 30点</li> <li>2. 提出物 30点(講義翌週のチェックテストと講義後のリフレクションシート)</li> <li>3. グループワーク参加に対する評価 20点(自己評価, 学生相互評価, 教員評価)</li> <li>4. プレゼンテーションに対する評価 20点(自己評価, 学生相互評価, 教員評価)</li> <li>5. 4回以上欠席した場合は成績評価の対象外となります&gt;(*1回の欠席につき3点減点)</li> </ol>
履修上の指導	授業は講義に加えディスカッションやプレゼンテーション等を組み込んだ学生参加型授業によって構成されます。こうした性質上, 出席はもちろんのこと, 積極的な受講態度が必須条件になり, 聞くだけの講義を期待している学生は遠慮していただきます。
オフィスアワー	授業期間中の木曜日 11時45分~12時45分
その他	本授業は, 高校から大学への円滑な移行および大学生活への適応を促すことを意図した「初年次教育プログラム」の一環として位置づけています。そのため, 受講対象者を原則として1年生に限定しています。

#### 担当教員一覧

教員	所属
山田 剛史	教育開発センター